

# ダリアの露地電照栽培技術マニュアル

## ～電球型LEDと黄色LED防蛾灯で品質・収量UP!～

置賜地域のダリア栽培は露地栽培が主体で、需要が高まる10月中旬頃から露芯花の増加やオオタバコガの卵の付着や幼虫による花の食害などの出荷ロスが発生していました。

そこで、露地栽培において電球型LEDと黄色LED防蛾灯を組合せて電照を行ったところ、品質と出荷量の向上につながることを実証されました。

### 【実証内容】

品 種 「ミッチャン」 定植日 6月10日、出荷開始 8月29日

電照実施期間 8月22日から収穫終了まで

【設置方法】フラワーネットの支柱を利用して4m間隔でいぼ竹を立て、地上2mの高さに黄色LED防蛾灯（1灯）、電球型LED（2灯：背中合わせ）を交互に取付け、これを4うね（8m）毎に設置

【点灯時間】黄色LED防蛾灯（レピガードシャイン）日没から日出まで  
電球型LED（バイオテック） 15時間日長

### 【設置状況】



### 【経費】

表 電照設備の経費(8aあたり)

項目	個数	金額(円)
電球(LED)	38個	30,942
電球(レピガード)	13個	110,500
いぼ竹(20×2.4m)	50本	10,600
プログラムタイマー	2個	1,596
その他材料		55,647
電源引込工事		120,873
合計		330,158

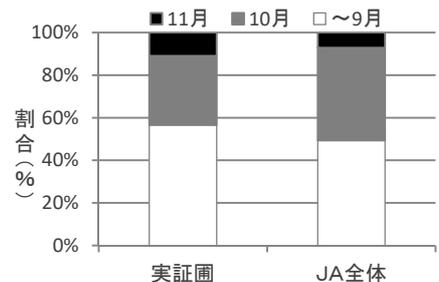
### 【実証結果】

- 10月下旬の切り花品質
  - ①花の中心部分は緑色の総苞片で覆われているものの満開時でも通常の露芯花のような頭状花は見られず出荷可能
  - ②オオタバコガの卵の付着や幼虫による花の食害は少ない
  - ③照度 20~130lx で切り花品質（切り花重、莖径、花径）に大きな差は無い

- 実証圃場の11月の出荷本数  
実証圃場の全出荷本数の10.9%  
(JA山形おきたま全体11月の出荷割合は7.1%)



開花時の様子



本事業は、R1次世代国産花き産業確立推進事業にて実施したものです。

【連絡先】山形県置賜総合支庁農業技術普及課 TEL 0238-37-3411